

## 小田城跡歴史ひろば案内所



▲案内所外観



▲歴史絵巻風展示



▲小田城跡出土品展示

案内所では、こうした小田氏十五代、四百年の物語を立体的な歴史絵巻風に再現しています。発掘調査の成果や体験型展示などを通じて、小田城の歴史を御覧ください。

### 【御利用案内】

- ◆供用時間：午前9時～午後4時30分
- ◆入場料：無料
- ◆休所日：毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始  
※ただし、月曜日が祝日の場合は開館で、その翌日が休館
- ◆案内所：つくば市小田 2532-2 (☎029-867-4070)
- ◆使用方法や団体見学などのお問合せ先  
・つくば市教育局文化財課 (☎029-883-1111)  
つくば市研究学園一丁目1番地1
- ◆近隣施設  
・出土文化財管理センター（入場無料）  
市内の遺跡からの出土遺物を保管・展示。  
土・日・祝日・年末年始休所 (☎029-867-4757)
- ・平沢官衙遺跡歴史ひろば（入場無料）  
奈良・平安時代の筑波郡役所跡で、3棟の高床式倉庫などを復元。案内所併設。  
月・祝日の翌日・年末年始休所 (☎029-867-5841)

### 【交通案内】

- ◆つくばエクスプレス (TX)：「つくば駅」下車、つくバス「小田シャトル」「小田東部」「小田中部」下車（乗車約50分）後、徒歩約5分。
- ◆JR常磐線：「土浦駅」下車、関東鉄道バス「土浦駅西口から筑波山口行・同駅西口から下妻駅行」「小田」下車（乗車約30分）後、徒歩約10分。



## 国指定史跡

# 小田城跡 歴史ひろば



小田城跡は、中世とよばれる鎌倉時代から戦国時代に、常陸国（現在の茨城県の大部分）南部に勢力をもった小田氏の居城跡です。小田城跡は、その歴史的重要性及び良好な遺存状況から昭和10年6月7日に国の史蹟（現在の史跡）指定を受けました。指定面積は21万7千㎡と広大です。

つくば市では、平成21年度（2009）から7年間かけ、発掘調査成果をもとに城跡中央の本丸跡とその周辺を中世の小田城を体感できる、遺構復元広場と案内所からなる歴史ひろばとして復元整備しました。

つくば市教育委員会

# 小田城跡 歴史ひろば案内図

整備では、発掘調査で確認した戦国時代最後の地面を厚さ約1mの盛土で保護し、確認した建物や池などの遺構をその真上に復元・表示しています。堀は埋まっていた部分を掘り直し、土塁は本丸の地面から2mの高さに盛っています。

どうぞ戦国時代最後の小田城を体感してください。

ちょこつと用語解説	曲輪(くるわ): 堀や土塁で囲まれた建物や広場のある区画 虎口(こぐち): 城の出入口
-----------	--



②東堀・東橋 小田氏時代の大手口(正面)と考えられ、最終期は木橋と土橋の組合わせで、それ以前は木橋でした。2回以上造替えられています。



③四阿 発見された建物跡の柱位置や大きさをもとに、休憩施設として設けています。



④東池 小田氏時代に使われた庭園の池で、池底には石を敷き、州浜もありました。小田氏の高い格式を象徴するもので、かつて庭越しに筑波山を眺めていたのでしょう。



①北堀・北橋 昭和50年代初頭に埋められた北堀を掘り直しました。本来の堀底は、現在の復元よりもさらに2m程深く、底を凸凹にする障子堀でした。橋の構造は最終期が土橋で、それ以前は木橋でした。

★眺望ポイント！  
土塁と堀に囲まれた本丸の様子を一望できます。

★眺望ポイント！  
筑波山を背景に本丸内を一望できます。

★眺望ポイント！  
涼台の通称で親しまれ、城跡の南側を一望できます。



⑤南西馬出曲輪 馬出は虎口と橋でつながった、軍勢を集めるための曲輪で、攻守に機能しました。



- 駐車場... P 身障者用駐車場... ♿
- 休憩所... トイレ(多目的有)... ♿
- 出入口... ▲ 指定範囲
- 土塁跡 堀跡



⑧遺構展示室 室町時代以降、土塁と堀が外側に広がっていく様子を、壁の土塁土層断面と床の堀の位置で表示しています。



⑦建物域 城主の屋敷などがあった空間です。調査で確認できた建物の位置と大きさを示しました。



⑥南西虎口 発掘調査で見つかった石垣と門の状況を、型を取ってレプリカで示しています。石垣には石塔の部材や石仏等も使ってました。門は櫓門であったと考えられます。

## 遺構復元広場